

地域の友

# ふじもり

## 第53号

発行：台町市民センター住民協議会広報部  
八王子市台町 3-20-1  
八王子市台町市民センター  
電話 042-627-3808  
(公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団

### 台町市民センターまつりを主催して

館長 清水 努

皆様こんにちは。いつも台町市民センター住民協議会にご支援ご協力を賜りありがとうございます。新型コロナウイルスも減少して警戒もインフルエンザ並みの扱いとなり外出も自由にできるようになりました。

令和六年のお正月はいかががお過ごしでしたか？令和五年十月の台町市民センター祭りも感染に注意しながら開催しました。感染の声もなく、皆様のご協力の元に成功裏に終わることができました。ありがとうございます。新型コロナウイルスの流行により感染予防の為に以前とは違った印象を受けました。芸能大会の参加者も以前は多人数での申込が多く、内容も踊り、楽器演奏、コーラスなどのグループで多岐に渡っていました。出番を待っている間の楽しそうな会話は生き生きとしていました。

楽器演奏をして帰る時の会話は「今日は上手くいったね。来年は何を演奏しようか」と楽しそうでした。新型コロナウイルスの流行により一人で参加でき

るカラオケで多くの人が参加して芸能大会を盛り上げてくれました。本当にありがとうございます。今回初めて空手の演舞を披露してもらい感動しました。しめている帯も白、黄、緑、茶、黒帯と模範型も平安初段、二段、三段、四段、五段と見せてくれました。型の部の全国大会東京代表として出場した演舞を見たときは見とれて真から感動しました。これだけの技を演じるには、毎日の練習と努力のたまものだと感じました。作品展に出品された作品はどれも玄人並の作品が多く出展されていました。屋外では子供コーナーを復活、模擬店、包丁研、フリーマーケットと予定通りの出店がありました。私の楽しみはフリーマーケットに並ぶ人形やぬいぐるみを見て歩くことでした。子供コーナーでは五年ぶりのスパーボールすくいに真剣な顔で挑戦しすくすくって満足した顔が目につかびます。

コロナ禍がほぼ終息し、十月二十一日に毎年台町市民センターまつりの一環、文化部の芸能大会・盆踊り大会が開催されました。文化部担当の私は、毎年六月頃に、住民協傘下の二十二月町会・自治会等に芸能大会の出演者募集の案内状を発送し、出演者を募ります。ここ数年は毎年五十組位の出演依頼がありますので、ほぼ一日の日程に合うスケジュールが組めるようになりました。そして会員の皆さまからの出演依頼をもとに、芸能大会当日のプログラムの作成に入り、作成後、プログラムを各町会・自治会等の出演者宛に郵送いたします。芸能大会当日は、文化部のメンバーそれぞれ役割り分担し、大会がスムーズに進行できまますよう、受付・司会・音響・出演順確認等の作業を担当します。

文化部会の業務をご理解頂き、このことも長年にわたり、協力頂きました皆様にお礼を申し上げます。今回はプロ歌手の方の出演依頼もあり、会場に多数の観客に足を運んで頂きました。またプロ歌手の方も観客のアンコールにこたえて頂き、数曲歌って頂きました。お礼を申し上げます。翌日の午後からは、芸能大会の同じ体育館で「盆踊り大会」を久し振りに開催しました。踊る人が集まるかと心配しましたが、思っていた以上にお集まり頂き、盆踊りも盛り上がりしました。「盆踊り大会」のポイントは、太鼓の音です。その太鼓は東雲町会から借用しました。その太鼓を大変上手にたたき、「中村雅子」様に盛り上げて頂きました。太鼓の音の一つ一つに思いが伝わりました。

文化部会の業務をご理解頂き、このことも長年にわたり、協力頂きました皆様にお礼を申し上げます。今回はプロ歌手の方の出演依頼もあり、会場に多数の観客に足を運んで頂きました。またプロ歌手の方も観客のアンコールにこたえて頂き、数曲歌って頂きました。お礼を申し上げます。翌日の午後からは、芸能大会の同じ体育館で「盆踊り大会」を久し振りに開催しました。踊る人が集まるかと心配しましたが、思っていた以上にお集まり頂き、盆踊りも盛り上がりしました。「盆踊り大会」のポイントは、太鼓の音です。その太鼓は東雲町会から借用しました。その太鼓を大変上手にたたき、「中村雅子」様に盛り上げて頂きました。太鼓の音の一つ一つに思いが伝わりました。

### 台町市民センターまつり 演芸大会を主催して

住民協副会長 田邊 征夫



# 台町市民センター総務部主催

## ふれあい講座

### 医学博士 金谷潔史先生

#### 「認知症について学ぶ」より

令和五年十一月に催した講座内容を選んで紹介します。

認知症とは、病名ではなく、症状名であり、その定義は、いったん正常に発達した知的機能が持続的に低下し、複数の認知障害があり社会生活に支障をきたす状態になったことを言います。

認知症になる日常変化は次のことが起こります。

- ① 同じことを言ったり、聞いたりすること
- ② 物の名前が出てこなくなる
- ③ 以前にあった興味や関心が失われる
- ④ 置き忘れ、しまい忘れが多くなる
- ⑤ 計算の間違いが多くなる
- ⑥ 些細なことで怒ったりする

⑦ 夜中に起きて騒いだりする

⑧ 財布を忘れたという慣れているところで、道に迷う

⑨ 複雑TVについて理解できなくなる

⑩ 以前より疑い深くなる

⑪ 処方薬の管理が出来なくなる

⑫ いつも降りる駅を乗り越すことがある

⑬ 以上が主な症状になります。

認知症の種類について、主な三つをあげます。

- ☆レピー小体型認知症
- ☆アルツハイマー型認知症
- ☆脳血管性認知症

右記の三つの認知症の相違と特色については、脳の件と相まって専門知識が必要にな

り、この紙面では省かせて下さい。

☆認知症を予防する七箇条があります。

- ① 趣味を持ち、適度な運動を続ける
- ② ストレスをためない
- ③ 肉は控えめにして緑色野菜を食べる
- ④ 食べ過ぎない(腹八分目)
- ⑤ 高血圧、高脂血症、糖尿病の治療をする
- ⑥ 一日三十分昼寝をする
- ⑦ たばこはすわない

※認知症の人に対する症状別対処法にふれます。

☆すぐに家の外に出ようとす

① 一緒に歩いてから戻ってくる

② 会社にゆくというときは、今日は会社は休みという

☆夜、眠らないで騒ぐ。

① 昼夜逆転、日中の活動を増やす

② ショートステイの利用

☆トイレ以外の排泄。  
① トイレの場所をわかりやすくする。決して怒らない

② 排尿のパターンを知って誘導する

☆おむつをはずして便や尿で汚す。

① おむつの取り換えを早くする

② ポータブルトイレを利用する

☆財布や通帳が見つからない。

① 疑われても怒らない

② 疑われた人は余裕をもって受け流す

☆廊下に人がいる。隣から音楽が聞こえてくる。

① 見えることを肯定する

② 不安がっているときは、安心させてあげる

☆認知症の病名を知らされな

いため、車の運転を続けようとする。何度か車にぶつけている。

① 認知症の診断が確定したら、運転できないことをはっきり知らせる

② 医師から病名と危険性をはっきり伝えてもらう

☆デイサービスの車に乗りたがらない。  
① 本人に合うデイサービス

② 家族の休息の時間であることをわかってもらう

③ 本人が慣れるまで家族がつきそ

☆何日も入浴しない。

① 不潔、くさい、汚いというのは逆効果

② 裸を見られたくない人は、下着をつけて入ってもら

最後になりますが、講師金谷先生が推奨するサプリメントについてふれます。

サプリメントの名は「フェルガードーOOM」です。

日本認定証予防学会認定になっております。金谷先生も飲用しております。医療機関専用サプリメントで、必要な時は医療機関にご相談ください。



講演風景





第25回台町市民センターまつり福祉文化祭は、予定通りの日時に実施しました。ダンスパーティーは中止になりましたが、従来通りのセンターまつりを開催しました。多数のご来場があり、大変盛り上がりしました。

ふれあいの街づくり  
台町市民センター  
センターまつり  
福祉文化祭  
令和5年10月  
21日(土)&22日(日)



空手道スポーツ少年団



盆踊り大会



朝礼打ち合わせ会



第七小学校の作品

出品作品と演芸で従来にない新しい風が吹き始めました。例えば下記の写真のような折り紙で作った作品、すぐ左の七小の生徒が作った魚の数々、左上の空手道スポーツ少年団の演技、この傾向が続くことを願います。



刃物研ぎ



華道作品



折り紙作品



スーパーボールすくい



書道作品



丸太切り



気軽測定会の皆様



# 八王子の町づくりを進めた

そくせき

## 大久保長安の足跡をかえりみて(その2)

大日向 宏 (台町一丁目)  
佐藤 将 (台町三丁目)

### 八王子城落城と

#### 徳川家康の江戸入り

八王子城が豊臣秀吉の軍勢によって落城したのは、天正18年(一五九〇年)6月のことでした。

その時、小田原にいた城主の北条氏照も翌日に北条氏の人々と共に切腹、北条氏は滅亡しました。戦いに敗れ落城し、城主も失った八王子の町は、武士がうるつき町は大混乱におちいり荒れ果てていました。

間もなく滅亡した北条氏に代わり、関東の領主として徳川家康がやってくるようになりました。

#### 八王子は江戸の西に位置し、

武田氏の旧領甲府に通じる甲州街道のほか、鎌倉へ通じる鎌倉街道、川越へ通じる川越街道が走る交通の要衝であり、江戸の西の守り口として重要な位置を占めています。

それだけに、大久保長安の

並はずれた能力を見抜いていた家康は、八王子の町づくりを長安に命じました。

長安は自身が武田氏に仕え、信玄に重く用いられたこと、信玄の姫君である松姫様が八王子に落ちのびていたことなどから、積極的に町づくりを進めました。

長安はまず小門宿に陣屋をかまえ、関東十八代官の統領となり、八王子だけでなく関東一帯の統治も行いました。牢屋をつくり、警察の役割も果たしました。現在、小門町にある産千代稻荷神社が陣屋の跡地と言われております。

#### 浅川の治水にも

##### とり組む

度々浅川の氾濫が起こり町民を苦しめていたため、浅川の治水にも取り組みました。現在浅川に残っている「石見土手」は規模が小さく六十メートルですが、「数十年前までは長さ百数十メートル

の石見土手が残っており、高さは二メートル位あったようです。その土手の上には栗の木が点々と植えてあり、土手の幅はおよそ六メートル、高さは二・二メートルあった(北島勝次郎)史康「大久保長安」所収。この町囲い土手は「新地と千人町の境なる地藏堂の脇より千人町裏通り宗格院脇より日吉町から多賀神社裏通り同村田圃の辺まで」

あったという(武蔵名勝図会)また、江戸の西の守り口として、旧武田家の家臣らを中心とした組織をつくり、武士集団により警備に当たらせ、江戸の西の守りを固めました。千人隊はその例です。

#### 街道の整備に尽力

江戸の時代、徳川幕府は交通網の整備に力を入れ、長安は「一里塚奉行」に任じられ大きな役割を果たしました。主要な街道には一里ごとに一里塚が設けられ、甲州街道の一里塚のうち、八王子には新町の竹の花公園に市指定の史蹟として「竹の鼻一里塚跡」が残っています。南多摩高校近く、八王子市新町にあります。

#### 八王子の宿場(いん)

天正18年(一五九〇年)八王子城落城後、江戸幕府の代

官頭大久保長安は、城下にあった横山、八日市、八幡の三宿を横山の地に移し、新しい八王子宿を建設しました。これが現在の中心市街地の基礎となり甲州街道沿いの八王子宿となっています。

八王子宿では定期的に市が開かれ、市にやってくる商人らの宿泊や商う荷物の保管などをしていました。

横山宿は4の付く日、八日市宿は8の付く日、合わせて毎月6回の市が開かれ、食糧や織物、生糸、薪などの燃料を販売、中でもこの市で多数取り扱われていた周辺の村々で生産された織物のことを「八王子織物」と呼ぶようになりしました。

一方、八王子宿は、八王子十八代官や千人同心に人馬を提供し、軍事的な役割を担わせていました。宿の中でも小仏峠に近接する場所に千人同心の屋敷を置いて軍事上の拠点とし、甲州街道の東西の入口新町と千人町の西端には鉤の手を設けて、敵からの侵入を防いでいました。

江戸時代の後期の「甲州道中宿村大概帳」によると、横山宿(八王子宿)の規模は次のように記されています。

**本陣** (大名などが宿泊した公認の宿舎) 二軒

**脇本陣** (大名などの従者が多く本陣で対応できなくなつた時に予備にあてる宿舎) 四軒

**旅籠** (一般の旅人が利用した宿舎) 三十四軒

**問屋場** (人馬の継立などを行うところ) 二軒

**総家数** 一五四八軒

**人** 六〇二六八  
また、東は子安村と元横山村の入会地の境から西は散田村の境まで家並みが続き、その長さは三五町四間(三八九〇メートル)と記されています。

宿舎の内部は、横山宿、八王子市宿、八幡宿、八木宿、新町、久保宿、嶋坊宿、本郷宿、横町、子安宿、本宿、寺町、馬乗宿、小門宿、上野原宿の十五個別宿の共同体に分かれ、その中心的やくわりを果たしたのが横山宿と八王子市宿でした。

※この分をまとめるのに次記書籍並びに刊行物を参考にさせて頂きました。著者の皆様に心よりお礼申し上げます。  
八王子市の歴史 樋口豊治著  
長安様の町づくり 吉田美江著  
はちとび No.54 甲州街道